

県内学校における新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けたマスク作りについて

1 趣旨

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けてマスクの入手が困難な状況であることを踏まえ、臨時休校中で自宅学習をしている児童生徒に対して、児童生徒自身や家族用のマスクの自主的な製作を働きかけることにより、感染防止への意識や自己管理能力を高めるもの。

また、製作したマスクを地域の保育所や福祉施設等へ寄付することにより、社会貢献活動につなげ、自己肯定感を養うとともに、製作に当たっては不要となった衣類等の活用を図るなどリサイクルの観点を取り入れ、SDGsの推進にも貢献する。

2 取組内容

(1) 製作者

① 小学校の高学年(5・6年生)、中学校及び県立高校の全学年、特別支援学校の同学年生徒
児童生徒が臨時休校中に自宅でのマスク作りに取り組む。なお、製作されたマスクについて、例えば、デザインや機能性等の面において優れたものについては、各学校においてホームページ等で紹介することなどにより、製作意欲の向上を図る。

② 高校の「家庭・福祉」に関する専門学科・コース・部活動に所属する生徒
学校再開後の放課後等において製作するものとし、家庭クラブ活動や部活動の一環として、製作したマスクを地域の保育所や福祉施設等に提供する。

(2) 製作枚数及び材料

- ・上記(1)の①については、一人あたり2枚程度(可能な範囲で家族の分も製作)。材料については、各自で用意するものとし、リサイクルを推進する観点から、不要になったハンカチ、タオル、ガーゼ、ゴム等自宅にあるものを使用。
- ・上記(1)の②については、学校再開後の活動状況や施設数等に応じて対応する。材料については、生徒の自宅や学校で不使用のはぎれや制服業者から提供される布等を活用。

(3) 製作方法の周知について

富山県総合教育センターのホームページ(きときと とやまっ子 学習応援サイト「家庭学習のすすめ」)において、製作方法を掲載(別紙:「マスクづくりにチャレンジ」)
<URL <http://center.tym.ed.jp/siryou/gaku-ouen/16471>>

3 上記の取組みの進め方

小中学校については、県教育委員会から市町村教育委員会を通じて各学校長あてに取組みを働きかけるとともに、県立学校(高校、特別支援学校)については、各学校長に取組みの実施について周知する。

4 その他

小学校長会、中学校長会、高等学校長協会、高教研家庭科部会、家庭科教育振興会、家庭クラブ連盟等の関係団体の連携協力の下で実施し、県民が一致協力して新型コロナウイルス感染症に打ち克つ意識の醸成につなげる。

小学校高学年（5、6年生）～

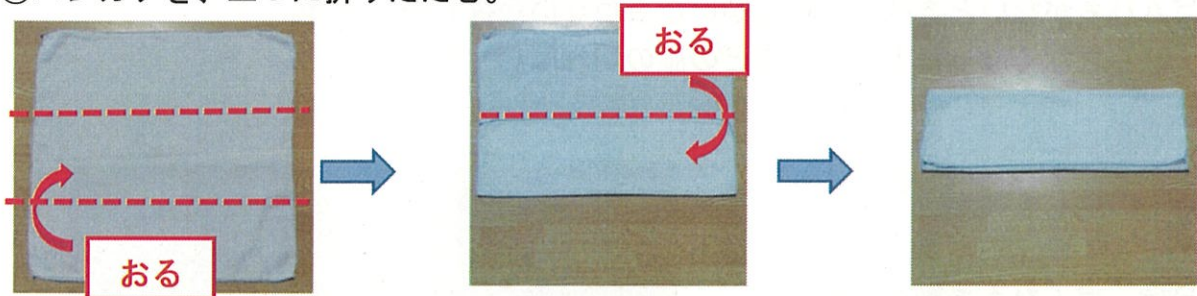
マスクづくりにチャレンジ

～自分用や家族用のマスクをつくってみよう～

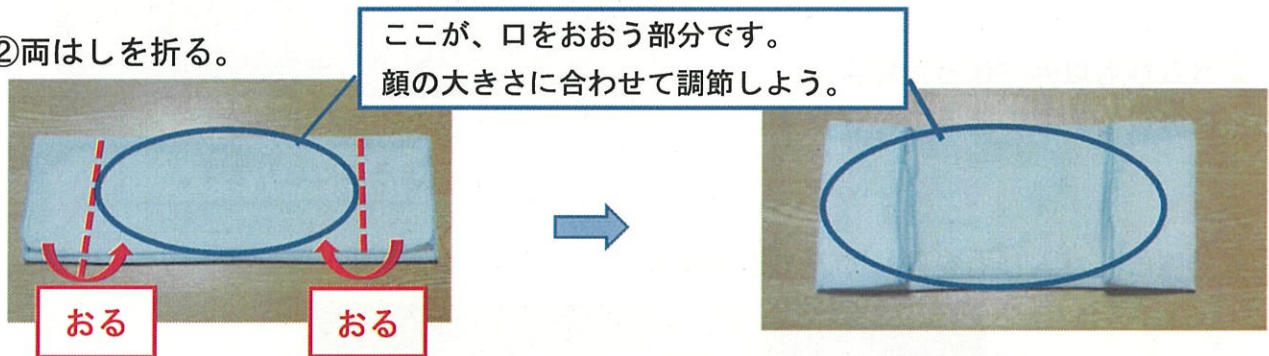
◎用意するもの

- ・ハンカチ（清潔なもの）
- ・針、糸
- ・耳にかけるゴムひも2本（長さ30～35cm）

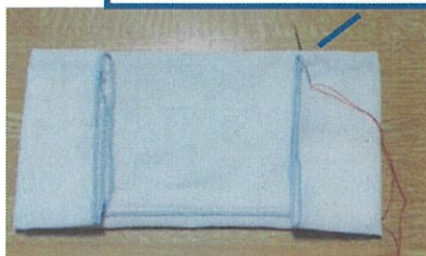
①ハンカチを、三つに折りたたむ。



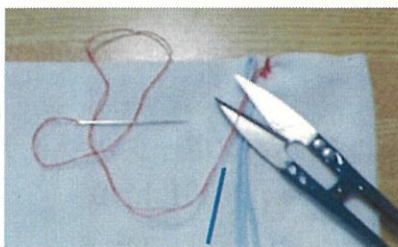
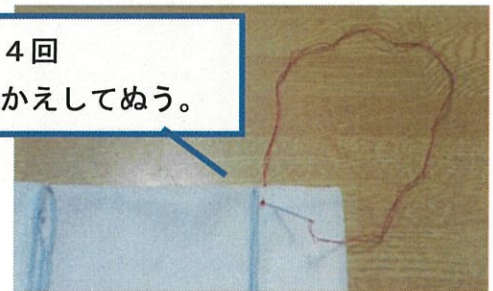
②両はしを折る。



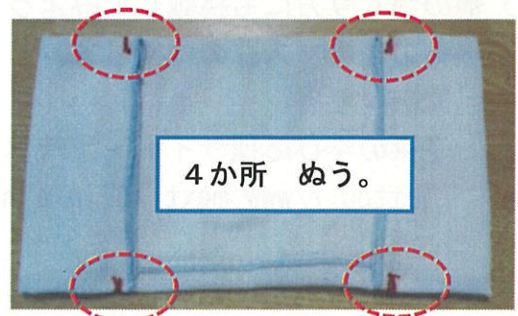
③ぬう。うらがわから、表がわへ針を通す。



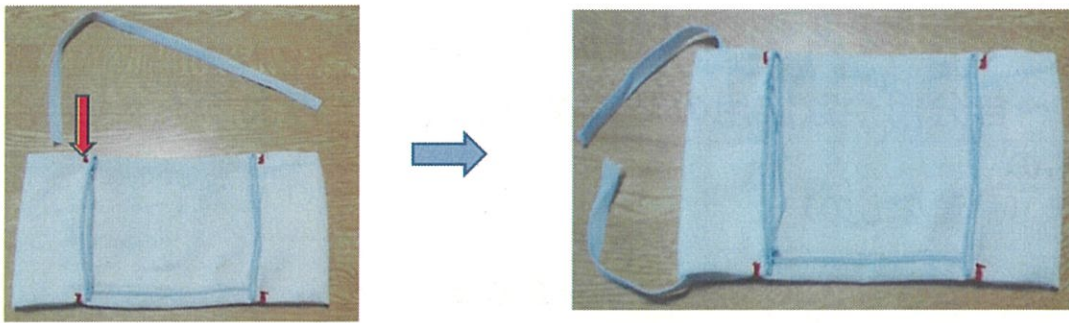
3、4回
くりかえしてぬう。



ぬった後、玉どめをして、糸を切る。



④ゴムひも（30～35cm）を通す。



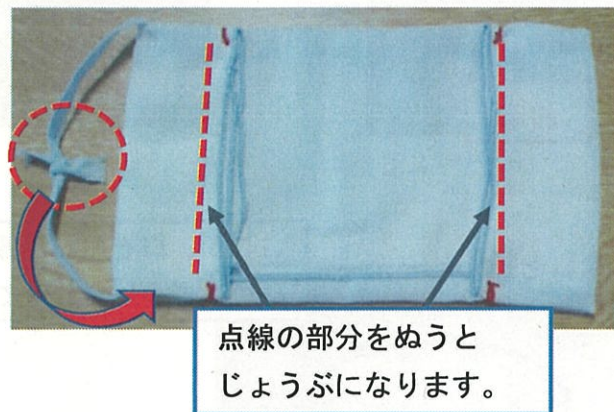
※ゴムひもがないときは、やわらかいひもがないか探しましょう。

・着られなくなったTシャツなどの服の切れはし など

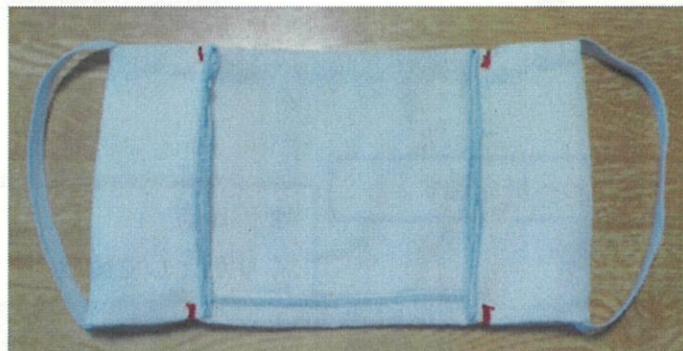
⑤ゴムひものはしを結ぶ。

結び目は、ゴムひもを動かして
見えないところに入れる。

※ゴムひも以外で作った場合は、
耳の後ろや頭の後ろで結びます。



⑥反対側にもゴムひもを通して、できあがり。



○ 他のつくり方にも挑戦してみよう。

〈その他のマスクのつくり方〉

文部科学省

子供の学び応援サイト～臨時休業期間における学習支援コンテンツポータルサイト～

(https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm)